

CONTENTS

● MIDI規格委員会の新たな活動	1	● 第10回 AMEI NAMM2007ビジネスツアー会員募集	6
● 新任役員挨拶	2	● 組織図・平成18年度役員名簿	7
● MIDI検定指導者・養成プログラム	3	● AMEI会員名簿・新入会員のご紹介・MIDI検定2級2次(実技)試験実施のお知らせ・定款配布のご案内	8
● 特集「新生MIDI規格委員会」	4・5		

新たな10年に向けた委員会活動がスタート

～Part I MIDI規格委員会～



MIDI規格委員会 初会合

AMEI活動の両輪として位置付けられている「MIDI規格」と「音楽著作権」は、それぞれMIDI規格委員会と著作権・ソフト委員会により活動が推進されていますが、今年度から、前者にはMIDI1.0部会と次世代MIDI部会が、後者にはインターネット・モバイル部会改め音楽配信部会がそれぞれ新設されて活動を開始しました。本号ではPart Iとして新生・MIDI規格委員会にスポットを当ててその活動を紹介します。(本文4～5頁)



次世代MIDI部会

MIDI規格委員会の再出発に当たっては昨年度から準備を進め、今年4月から新委員長と二人の新部会長の下で活動が開始されました。更に高度化、高速化、複雑化する新技術にMIDI規格を対応させるべく、米国MMA (MIDI Manufacturers Association) との連携も含め、会員企業の積極的な参加により活発な活動が進められており、この活動がAMEIの将来に結びつくものと大きな期待が持たれています。

新任役員挨拶

和田 康孝 副会長 株式会社第一興商 代表取締役社長

AMEI会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度AMEIの副会長という大役を仰せつかることとなり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

精一杯努力いたしますので、何卒ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

当協会も社団法人となって既に十年が経過した訳ですが、MIDIはその普及とコンテンツへの応用により、現在ではインターネットや携帯電話、カラオケ等、様々な分野において、一般消費者によってごく普通に利用されるに至っております。

しかしながら、次々と登場して来たこれらビジネス形態においてMIDI関連コンテンツを利用する為には、音楽著作権などの諸権利関係をクリアせねばなりません。そのため、権利者側との折衝やルール作りのために、会員各社に所属するご担当の方々がAMEIの各委員会や部会において苦勞を重ねて結果を出してきたという経緯がございます。

今後も、様々なビジネスが我々の想像を遙かに超えて誕生し、進化します。ほんの数年前には概念図や理論上可能だという領域で存在していたスキームがすぐに現実のものとなり、一般的でごく普通のものへとその姿を変えます。例えば、通信インフラ環境のブロードバンド化によって生じるネットワークの大容量化と高速化や双方向性の実現は、将来のビジネスについて、あらゆる可能性を今日も示し続けております。

幸いAMEIには、電子楽器メーカー、カラオケ、モバイル、通信関連と、様々な分野を代表する会員各社がお集まりになっているので、先進のテクノロジーや新しいビジネスモデルに対応した諸権利関係のルール作りなどについて、常に音楽電子事業の将来を見据えた有意義な議論がなされ、業界発展に力強く貢献していると言えます。

AMEIがこれからも発展し続け、会員の皆様の成功によって社会に貢献できます様、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

藤田 一夫 理事

アップルコンピュータ株式会社 政策企画渉外部長

AMEI会員の皆様におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

この度、理事の大役を仰せつかりました。微力ではありますが、会の発展に幾許かでもお役に立てれば幸甚に存じます。

昨今、音楽や映像等のコンテンツはその製作や流通においてデジタル化の度合いが増す一方であります。更にその拡大の程度は著しく、目覚ましい進歩を遂げております。私達、アップルコンピュータはApple IIで1970年代のパーソナルコンピュータ革命に火をつけ、80年代にはMacintoshによって、再び、全く



新しいパーソナルコンピュータを創出しました。数々の賞に輝く革新的なデスクトップおよびノートブック型コンピュータ、Mac OS Xオペレーティングシステム、iLifeデジタルライフスタイル・アプリケーション、そしてプロ向けの各種アプリケーションで業界をリードし続けています。これに加えて、ポータブルプレーヤー市場をリードするiPodファミリーと、オンラインのiTunes Music Storeにより、アップルはデジタルミュージックの分野でも先頭に立ってその革命を推し進めています。音楽の有料ダウンロードであるiTunes Music Storeのサービスを昨年8月から日本でも開始以来、消費者の皆様から非常に高いご支持を得ております。全世界で今年初旬には既に10億曲有料ダウンロードを達成致しました。この様に私たちは、デジタル流通物の促進に日々精勤して行く所存でございます。

今後も、会員各位の皆様と共に更なる業界の発展と利用者の利益を考えた制度設計を担うべく努力したいと願っております。

会員各位の皆様のご指導、ご鞭撻を賜ります様、伏してお願い申し上げます。

こうろぎ

興梠 雅治 理事

株式会社ヤマハミュージックメディア 代表取締役社長

AMEI会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたびは、当協会の理事に就任させていただくこととなりました。

微力ではございますが、努力して参る所存でございますので、ご指導、ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

弊社は楽譜出版を基盤に、MIDIデータやCD音源の制作、楽譜配信や音楽データ配信など多岐にわたる業務を展開しており、AMEIの活動には前身のJEMSA（旧・日本電子音楽ソフトウェア協会）の時代から積極的に参画しております。

近年、特に音楽著作権に関しては通信インフラの発展、半導体記憶容量の増大、楽器とコンピュータ機能の融合など目まぐるしいほどの環境変化があり、音楽著作物使用条件についての議論はとて容易には尽くしきれません。新しいビジネスモデルが登場した後で法的整備、著作権団体との間での使用料率の合意の努力が行われているのが実情です。2001年の著作権等管理事業法施行により、複数の著作権管理団体との協議、調整も必要になり、適切な使用料率決定までにはますます多大なエネルギーが必要になってきております。

また、20余年にわたって楽器業界に貢献しているMIDI規格は、通信カラオケ、着信メロディーという新しいビジネスモデルを生み出しただけでなく、次世代MIDI規格へと更に進化し続けております。しかしこれらの環境整備は、AMEIが他業界の団体を啓蒙し、著作権に関してはNMRCの中でもリーダーシップをとって来たからこそ成し遂げられたことで、それは誰しも否定できないことですので、今後も関連業界からAMEIに対して今まで以上に大きな期待が寄せられるはずで

今後、少しでもお役に立てるよう尽力いたして参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



MIDI検定指導者・養成プログラム

MIDI検定委員会 委員長 大浜 和史

MIDI検定

は、1998年10月に東京ビックサイトで開催した「MIDI WORLD」会場において、AMEIの実施するMIDI学習者への認定制度として発表されました。おりしも同会場ではWindows98の発表と重なり話題を集め、その模様は今でも印象に残っています。スタートした「MIDI検定3級」はMIDI規格そのものであり、MIDI検定の中核となります。2000年には実務に適応した上位グレードとなる2級を設け、その翌年には一般への普及拡大を目的に入門編と位置付けた4級を加え、MIDI教育プログラムを構成しています。

現在まで3級、2級を合わせた総受験者は22,795名、4級登録は1,984名となり、8年間でおよそ2万5千人の方が「MIDI検定」に応募頂きました。一昨年から中国においても各大都市の教育大学にて試験が実施され、受験者も数百名からさらに拡大しています。

さて、現在の最高グレードとなる「2級実技試験」の合格者は583名で、全応募者の2%にあたりますが、この優秀なる精鋭には音楽製作の実務者として活躍を期待すると共に、次世代のMIDI普及に指導者として貢献して頂くべく実施したのが、ここで紹介させて頂く「MIDI検定指導者・養成プログラム」です。このプログラムでは、各試験に対応した指導要項、受験対策と共に、最新情報を含めた研修講座を実施しています。

現在のところ、2級実技合格者を対象に行う「4級指導者認定講座」を受講して「4級指導者」として資格認定を受けたのは280名、その4級指導者を対象に行う「3級指導者認定講座」による認定者は200名、さ

らにその3級指導者を対象にこの度実施した「2級（筆記）指導者認定講座」による認定者は125名となりました。この2級指導者の誕生によりMIDI検定には大きなピラミッドを描く教育システムが形成され、2級指導者（全応募者の0.5%）はその頂点となります。

指導者認定講座に参加する受講者の年齢は様々ですが、大学卒、専門学校卒の社会人が多くを占めており、皆真面目です。講師との対話の中からは熱のこもった専門的な質問が交わされ、MIDIを学習し理解し活用する選ばれた貴重な人材である事を実感します。さらに詳しい情報を得る事で、より親しみを感じるといった感想も聞かれます。

指導者の認定を受け教室を開講され話題となるモデルケースも見られますが、まだ少数派です。多くの方が指導する事に興味を持っていますが、教育機関からの求人も限られ、個人での開講には設備投資や地域の格差など問題もあります。実際にはキャリアアップの自己研修ととらえ、就職時、再就職時の資格にと考えている方も多いようです。

さて今後の展開ですが、この選ばれしエリートとの関係をいかに築くかが鍵となります。MIDI検定委員会としましては、意見交換のカンファレンス、メンバーページなどメールによる情報交換、スキルアップ講座などで大切に関係を保ちたいと考えています。

AMEI会員の各団体におかれましては、情報収集、人材募集の折に、AMEIが育てた優秀な人材が125名いる事を覚えておいて頂き、ご活用頂きますようお願い致します。



2級指導者認定講座



大浜委員長（2級指導者認定講座にて）

「MIDI検定試験」の普及に携帯ポータルサイトを活用 ■ <http://www.jitsuryoku.jp/>



auの携帯サイトにラーニングポータルサービス「実力温泉」と銘打ったサービスがあります。サイトには問題集があり、ユーザーはそれらの問題を解くうちに実力がつくといったものですが、MIDI検定試験を、広く告知する事を目的に会員のクリムゾンテクノロジー（株）様の制作協力を得、MIDI試験の問題集もメニューとして展開しています。



特集

新生・MIDI規格委員会が活動開始

AMEI活動の両輪として位置付けられている「MIDI規格」と「音楽著作権」。

今回は新生・MIDI規格委員会にスポットを当ててその活動を紹介します。

◆ 委員会の紹介



MIDI規格委員会 委員長 ひかわ 飛河 和生

クリムゾンテクノロジー株式会社の飛河と申します。本年4月よりMIDI規格委員長を勤めさせていただいております。宜しくお願い致します。

MIDI (Musical Instrument Digital Interface) 規格は、会員の皆様もご存じのように、もともとは鍵盤楽器の演奏情報を伝送するための通信プロトコルとして制定され、送受信の回路設計や5ピンのDIN端子等のハードウェアも含めてその仕様が決められています。MIDIはその柔軟性という意味で制定当時から他のさまざまな規格とは一線を画する独自のもので、知的コーディングの先駆けです。これがもとでMIDIは通信カラオケ、着信メロディなど、さまざまな分野で使われるようになりました。最近では5PinのDINケーブルを利用するシーンはかなり少なくなってきました。しかし、送信側と受信側を合致させることで自由に演奏や制御信号を伝送するという思想は今でも斬新であり、携帯電話のバイプレータやLED制御、ステージの照明機器、レコーディング機器の制御、恐竜展や愛知万博などでのロボット制御など、さまざまな制御システムにも応用されていることは周知の通りです。テンポという概念により、時間軸を自由に扱えると言うことも大きなメリットの一つです。

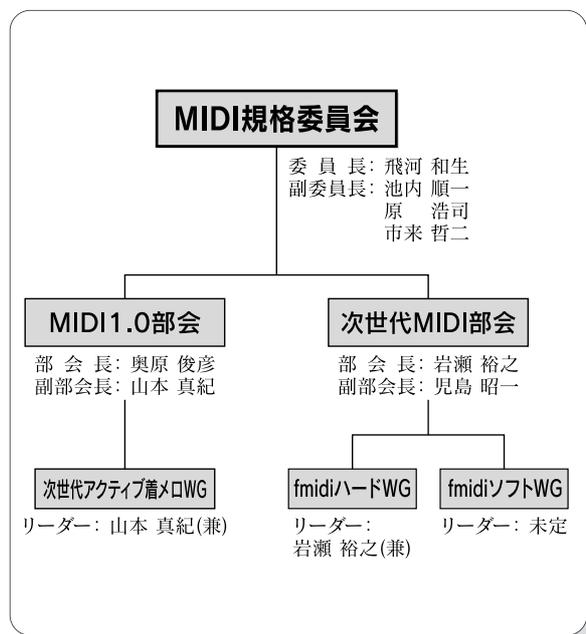
自由に演奏情報を取り扱えるメリットは今後も大きな意味があります。MIDIは映像やオーディオの世界と大きく異なる特長を持っています。現在、著作権・ソフト委員会 音楽配信部会からの要請を受けて次世代アクティブ着メロの審議が進められていますが、これらもMIDIの持つ自由度が活かされた新たな展開として、審議の行方が注目されています。

ところで、AMEIでの組織的な話に移りますが、MIDIは従来、楽器市場が中心であったこともあり、楽器メーカーを中心とする幹事会において決定が行われてきました。昨今、規格のオープンスタンダード

化が盛んですが、この前提となるのは、審議のオープン性、知的財産の明確化、市場での認知です。今年度より、従来の幹事会を廃止し、会員の皆様に対してオープンな形で審議を進めることとしました。これに併せ、従来の部会も整理し、現在はMIDI1.0部会と次世代MIDI部会の2つの部会で構成されています。部会の詳細は各部会長の紹介文に書かれているので詳細は省きますが、MIDI1.0部会は現在のMIDI1.0規格に関わるすべての規格を取り扱い、この中には着信メロディなどのモバイル分野や、現行の通信カラオケなどの分野も含まれます。次世代MIDI部会は、現在のMIDI1.0規格を更に発展させたものとして、今後20年間使えるような規格を作ろうという趣旨で、現在審議を続けています。

今後の位置づけとしては、技術規格を中心とする当委員会としましては、企業会員の皆様にとって大きなメリットとなるような新しい市場を技術的な側面から支援、創造する事にあります。上記の次世代アクティブ着メロなどはその一例ですし、今後のロボット市場をターゲットとした新しい方向性も検討していきます。現在の楽器市場の発展を見据えつつ、モバイル、家電、ネットワークといった分野での将来に着目し、技術的見地からコンテンツ市場の健全な発展を図ると言うことも当委員会の大きな目的です。

末筆になりますが、会員企業の皆様のご発展を祈念すると共に、当委員会への更なるご指導、ご支援を頂ければ幸いに存じます。



◆ MIDI 1.0 部会



MIDI 1.0部会 部会長 奥原 俊彦

今年度よりMIDI1.0部会として、これまでの規格検討部会、応用技術部会とモバイルMIDI部会を引き継ぎ、MIDI1.0規格の改訂と各種応用への拡張を扱っていくことになりました。

20年も前のMIDI機器と最新の機器とを接続して動作させることができるというのは、進歩の速いデジタルの世界では稀有な例で、MIDI規格制定に携わってこられた先人の皆さんの先見の明に感謝するばかりですが、一方では時代に合わせて多少手直しが必要な部分も出てきており、また他方ではカラオケや着信メロディなど、当初想定していなかった用途でもMIDIが広く使われるようになったために、さまざまな拡張応用例が提案されています。現在も着信メロディの新たな応用について次世代アクティブ着メロWG（ワーキンググループ）を設置して検討しているほか、いくつかの提案について部会内で検討を進めております。

MIDIの応用を広げるためにも、日本以外でMIDI規格を管轄するMMAと協力し、これらの新しい提案に迅速に対処すべく努力して参りたいと存じます。私自身はAMEIに顔を出すのはGM2ワーキンググループ以来で、至らぬ点も多いかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

◆ 次世代MIDI部会



次世代MIDI部会 部会長 岩瀬 裕之

MIDI1.0は過去20数年間、着メロ、カラオケ、PCアプリ等様々な分野で使われて来ましたが、昨今の技術進歩により一部のアプリケーションでは分解能が不足する状況となっております。この要求に対応し、新たな分野への応用が可能な次世代のMIDI規格を検討する次世代MIDI部会が今年度より発足いたしました。

これからの20年を担う新規格を検討する部会長という大役、微力ながらも精一杯努力させていただきますので、よろしくお願い致します。

次世代MIDIは米国MMA（MIDI Manufacturers Association）のHD-MIDI WGでも平行して検討されており、彼らとは定期的に進捗、方向性を共有、修正しながら規格を詰めてゆく予定です。

MMAに比べ、AMEIは楽器をはじめとしたハードウェア機器製造、コンテンツの制作及びサービスの提供に関わられている企業の参加が多いことが特徴です。次世代MIDI部会ではfmidiハードWGとfmidiソフトWGという2つのワーキンググループを立ち上げるなどしてこれら参加会員企業の特色を生かした議論を行い、参加企業のメリットも考えつつ規格の検討を進めて行きたいと考えております。

議論すべき内容が広いので、場合によっては他の委員会にご協力をお願いすることもあるかと思えます。皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



次世代アクティブ着メロWG（ワーキンググループ）

第10回 AMEI NAMM2007

ビジネスツアー会員募集要項

MIDI規格委員会では、今年もMMA Meeting / NAMMビジネスツアーの参加者募集を下記の通り実施いたします。このビジネスツアーでは、日頃の委員会活動を、米国MMA (MIDI Manufacturers Association) メンバーと電子メール等で行っていますが、MMAメンバーも一同に会するこのNAMM期間中に現地にてAMEI/MMA会合を開催し、相互コミュニケーションを図り、理解を深めることを目的としています。

この会合に参加希望されない会員様には、NAMM2007の視察また全日自由行動となっているので、現地での商談などに、このツアーの利用をお勧めいたします。最新の製品、情報に触れることのできるこの機会をぜひお見逃しなく!

また、今回、2003年完成の「ウォルトディズニー・コンサートホール」の館内バックヤードをツアー初日に現地視察コーディネーターがご案内致します。

催行期間：2007年1月17日(水)～1月23日(火) 5泊7日

旅行費用：基本旅行代金：179,000円

(一人部屋追加代金：75,000円)

利用予定航空会社：全日空

利用予定ホテル：レジデンス・イン・ガーデン・グローブ

最少催行人員：10名

申込締切：2006年12月8日(金) ※以降空き状況確認の上ご対応いたします。



日程	地名	現地時間	交通機関	予定	食事
1月17日 (水)	成田発 ロサンゼルス着	17:05 09:45	NH6 専用車	空路、ロサンゼルスへ 着後専用車にて 「ウォルトディズニーコンサートホール 館内バックヤード音響視察」へ ＜アナハイム泊＞	機 機 ×
1月18日 (木)	アナハイム滞在			AMEI/MMA Unofficial-Meeting (NAMM2007視察) ＜アナハイム泊＞	朝 ×
1月19日 (金)	アナハイム滞在			(NAMM2007視察) ＜アナハイム泊＞	朝 ×
1月20日 (土)	アナハイム滞在			AMEI/MMA Official-Meeting (NAMM2007視察) ＜アナハイム泊＞	朝 ×
1月21日 (日)	アナハイム滞在			MMA総会参加 (NAMM2007視察最終日) ＜アナハイム泊＞	朝 ×
1月22日 (月)	ロサンゼルス発	朝 11:35	専用車 NH5	専用車にて空港へ 空路、帰国の途へ ＜機中泊＞	朝 ×
1月23日 (火)	成田着	16:25		着後、解散 ～お疲れ様でした～	機 機

**「ウォルトディズニーコンサートホール」
館内バックヤード視察** (1/17実施予定)
2003年にダウンタウンに完成した座席数
2265席を誇るコンサートホール。音響設
計は日本人で(株)永田音響設計の豊田氏。
館内のバックヤードを現地日本人視察コー
ディネーターが音響設備を中心にご案内致
します。(所要約1時間)



Photo: Tim Street-Porter

※この期間は見本市開催のためホテル事情は極めて厳しい状況となっておりますので、お早めのお申込をおすすめ致します。
特に今年度につきましては、例年よりも大変ホテルが混雑しております。締切日以降のホテル手配は極めて困難となりますので、締切日までにお申
込いただきますようお願い申し上げます。

日程変更・別手配、通訳の手配などトータルでアレンジさせていただきますので、ご希望の方はお問合せください。

費用に含まれるもの

- ① 日程表に記載した航空運賃エコノミークラス運賃
- ② 日程表に記載された団体行動中の乗物料金
- ③ 宿泊代金：1室に2名様利用の宿泊を基準とします
- ④ 手荷物運搬料金：運搬機関の規定内手荷物料金
- ⑤ 団体行動中のチップ・税金
- ⑥ 成田空港施設使用料・現地空港税・航空保安料
- ⑦ 食事料金(朝食 5回)

費用に含まれないもの

- ① お1人様部屋利用追加代金(¥75,000-)
- ② 航空機ビジネスクラス利用の場合の追加料金(別途ご案内)
- ③ 個人的性格の諸費用(電話代、クリーニング代、飲物費等)
- ④ 旅券印紙代
- ⑤ 超過手荷物運搬料金
- ⑥ 任意の海外旅行傷害保険料
- ⑦ 燃油サーチャージ(往復¥26,200- 2006年10月現在)
- ⑧ NAMM登録諸費用

旅行企画：(社)音楽電子事業協会

旅行実施：近畿日本ツーリスト株式会社 東京イベント・コンベンション支店

国土交通大臣登録旅行業第20号 (社)日本旅行業協会正会員
ボンド保証会員 旅行業公正取引協議会会員

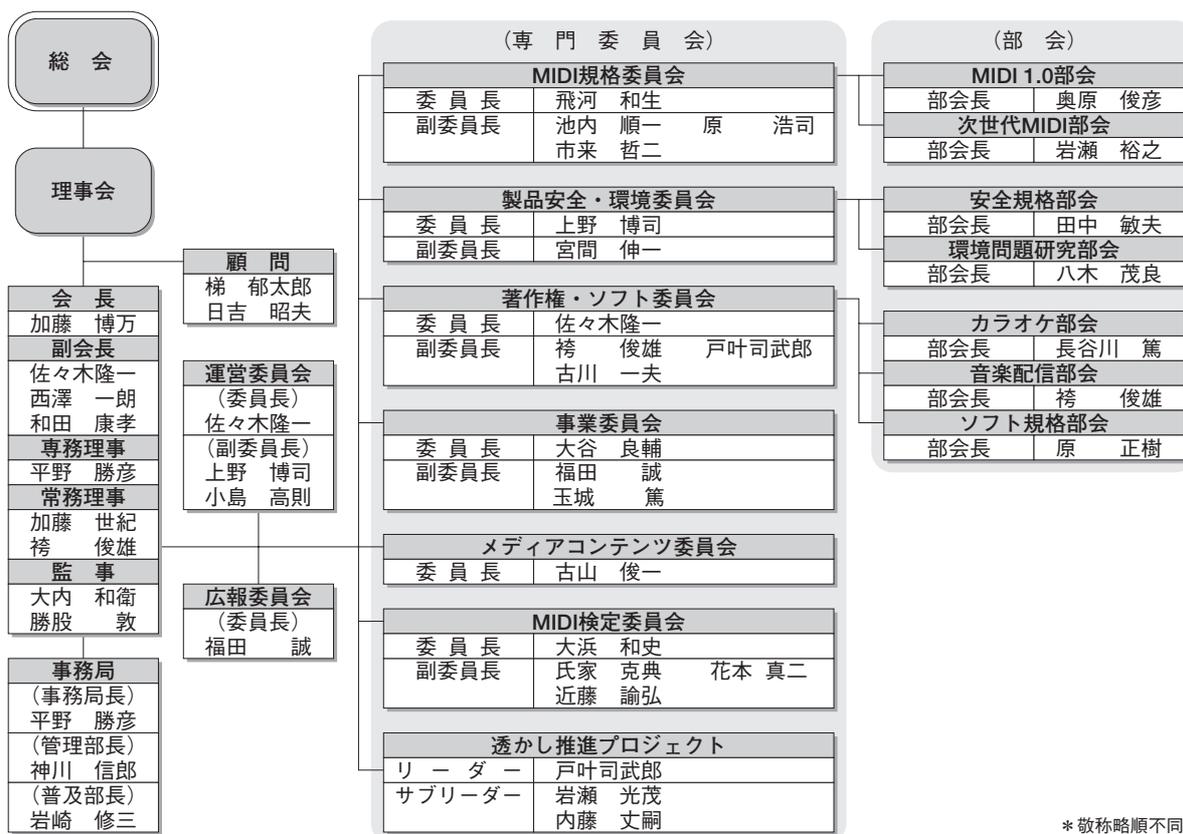
資料請求

社団法人音楽電子事業協会事務局まで

TEL：03-5226-8550 FAX：03-5226-8549

E-mail：webmaster@amei.or.jp

(社)音楽電子事業協会 組織図



(社)音楽電子事業協会 平成18年度役員名簿

会長	加藤 博万	ヤマハ株式会社 常務取締役	〃	中川 利巳	株式会社鈴木楽器製作所 取締役社長
副会長	佐々木隆一	株式会社エムティーアイ 取締役	〃	中西 正人	株式会社フェイス 専務取締役
副会長	西澤 一郎	ローランド株式会社 専務取締役	〃	西垣 保男	株式会社タイトー 代表取締役会長
副会長	和田 康孝	株式会社第一興商 代表取締役社長	〃	英 裕治	ティアック株式会社 代表取締役社長
専務理事	平野 勝彦	社団法人音楽電子事業協会 事務局長	〃	飛河 和生	クリムゾンテクノロジー株式会社 代表取締役社長
常務理事	加藤 世紀	株式会社コルグ 代表取締役社長	〃	藤田 一夫	アップルコンピュータ株式会社 政策企画部政策企画渉外部長
常務理事	袴 俊雄	株式会社ビクターネットワークス 代表取締役	〃	堀主知 ロバート	株式会社サイバード 代表取締役社長
理事	赤松 憲樹	学校法人尚美学園 顧問	〃	松川 修二	NECエレクトロニクス株式会社 モバイルシステム事業部シニアエキスパート
〃	大野 政昭	株式会社サミーネットワークス 代表取締役社長	〃	村上 二郎	株式会社河合楽器製作所 執行役員電子楽器事業部長
〃	踊 契三	ギガネットワークス株式会社 代表取締役社長	〃	安富 和弘	株式会社セガ 執行役員 ネットワーク戦略事業部長
〃	加茂 正治	株式会社BMB 代表取締役社長	〃	大内 和衛	株式会社キューブ 代表取締役社長
〃	興梠 雅治	株式会社ヤマハミュージックメディア 代表取締役社長	〃	勝股 敦	株式会社CTA 代表取締役社長
〃	小林 宏	株式会社ドワンゴ 代表取締役社長	〃	顧問 梯 郁太郎	ローランド株式会社特別顧問
〃	島村 元紹	島村楽器株式会社 代表取締役社長	〃	顧問 日吉 昭夫	
〃	鈴木 洋三	カシオ計算機株式会社 常務取締役 営業本部長	〃		
〃	田中 義雄	株式会社JEUGIA代表取締役会長	〃		
〃	土岐 高広	株式会社エクシング 代表取締役社長	〃		

(常勤役員は専務理事のみ、他の役員は非常勤です。)

会員名簿

50音順 2006年11月13日現在

あ	島村楽器株式会社	株式会社ビクターネットワークス
アイデックス音楽総研株式会社	株式会社 JEUGIA	ふ
アップルコンピュータ株式会社	学校法人尚美学園	株式会社フェイス
い	す	株式会社フォーサイド・ドット・コム
株式会社インターネット	株式会社ズーム	フォスター電機株式会社 フォステクスカンパニー
インフォコム株式会社	株式会社鈴木楽器製作所	株式会社フットレック
え	せ	ま
株式会社エクシング	セイコーインスツル株式会社	松下電器産業株式会社
NECエレクトロニクス株式会社	株式会社セガ	み
NTTコミュニケーションズ株式会社	株式会社セガ・ミュージック・ネットワークス	有限会社ミュージカルプラン
株式会社エムティーアイ	そ	株式会社ミュージックネットワーク
株式会社エンターブレイン	ソニー株式会社	ミュージックノート株式会社
お	ソフトバンクモバイル株式会社	め
沖電気工業株式会社	た	株式会社メロディーズ アンド メモリーズ グローバル
株式会社音響総合研究所	株式会社第一興商	や
か	株式会社タイトー	ヤマハ株式会社
カシオ計算機株式会社	株式会社タムラ製作所	財団法人ヤマハ音楽振興会
株式会社河合楽器製作所	て	ヤマハミュージックトレーディング株式会社
き	ティアック株式会社	株式会社ヤマハミュージックメディア
ギガネットワークス株式会社	と	ら
株式会社キューブ	東映ビデオ株式会社	株式会社ラグナヒルズ
く	株式会社ドワンゴ	り
株式会社グリオ	に	株式会社リットーミュージック
クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	ニフティ株式会社	株式会社リムショット
クリムゾンテクノロジー株式会社	学校法人片柳学園 日本工学院専門学校・	ろ
こ	日本工学院八王子専門学校	ローランド株式会社
株式会社コピーライツ ビジョン	日本シンセサイザープログラマー協会	〈以上、正会員会社67社〉
株式会社コルグ	学校法人電子学園日本電子専門学校	
さ	の	* 賛助会員
株式会社サイバード	ノキア・ジャパン株式会社	中音公司 (中華人民共和国)
株式会社サミーネットワークス	は	株式会社博秀工芸
し	株式会社ハドソン	株式会社ミュージックトレード社
株式会社CTA	パナソニック モバイル コミュニケーションズ株式会社	〈賛助会員会社3社〉
株式会社シーミュージック	び	
株式会社JLS	株式会社BMB	



新入会員のご紹介：

10月1日よりクリプトン・フューチャー・メディア株式会社 様が入会されました。
同社は、「100万件以上のサウンド素材データをパッケージ/オンライン販売しています」

MIDI検定2級2次(実技)試験実施のお知らせ

第8回2級2次(実技)試験は次の3会場で実施されます

- 大阪会場：Windows & Mac使用会場 本町タイリンビルAAホール3番館4F
平成19年2月17日(土)、18日(日)
- 東京会場：Windows使用会場 FORUM 8 (新大塚ビル1号館 777号)
平成19年2月24日(土)、25日(日)
- 東京会場：Mac使用会場 アップルコンピュータ株式会社トレーニングルーム
平成19年3月3日(土)、4日(日)

主催：社団法人音楽電子事業協会 協力：ニホンシンセサイザープログラマー協会
後援：(会場、機材、ソフト等の協力)アップルコンピュータ(株)、(株)インターネット、(株)オービット・ミュージクス事業部、
(株)メディア、ヤマハ(株)、ローランド(株)

AMEI NEWS Vol.31 / 2006.11.13
社団法人音楽電子事業協会 機関誌
発行：社団法人音楽電子事業協会 事務局
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-16-9 イトービル4F
TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549
発行人：平野勝彦
編集人：福田 誠(広報委員会)
編集協力：株式会社 博秀工芸
ホームページアドレス：<http://www.amei.or.jp/>